

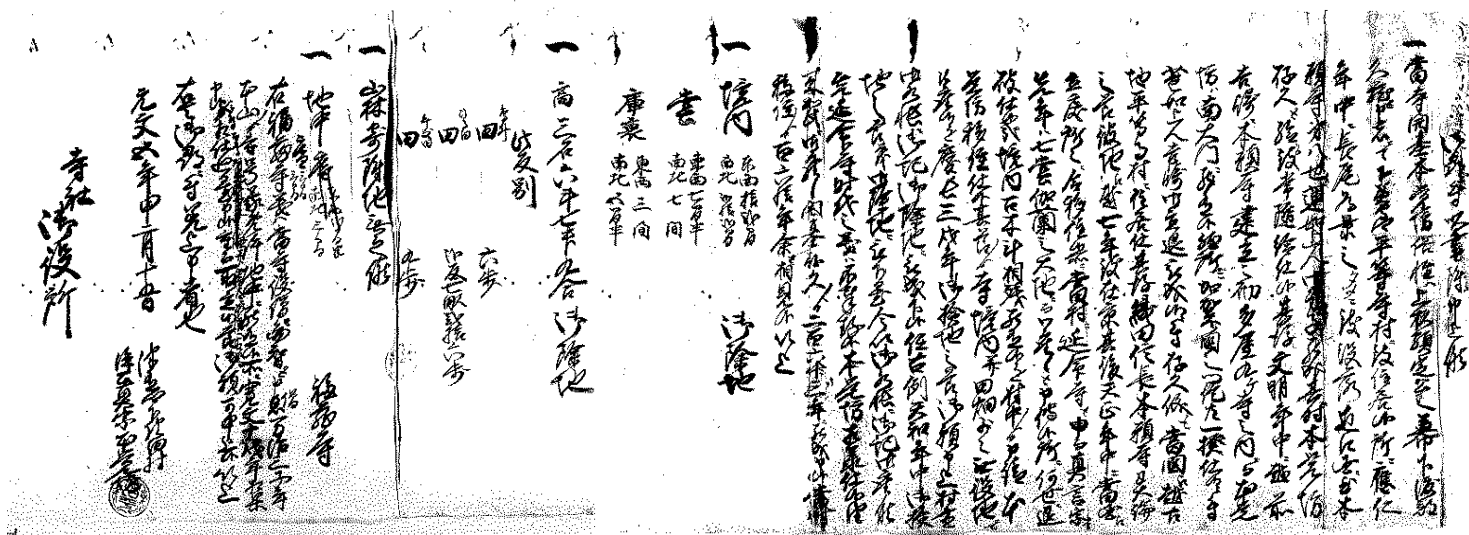
## 本覚坊文書目録解題

この目録は上越市大字下野田の浄土真宗大谷派延命山本覚坊に所蔵される史料を調査し作成した。

本覚坊所蔵の史料や法宝物については、早くからその史的価値が注目され、史料紹介や研究成果がさまざまな機会に発表されている。それらの調査は、例えば『高田市文化財調査報告書』(1961年)の「石山戦争関係史料」や、『新潟県史』資料編4 中世2(1980)のように、あらかじめ主題や時代を特定しての調査で、本覚坊所蔵の史料群全体を把握しようとする調査は果たされてこなかった。平成4年(1992)、当時上越教育大学教授であった真野俊和氏と同純子氏が所蔵史料の全体構造を把握しようとする構想で本格的な調査に着手し、平成5年10月に『越後の本覚坊 新潟県上越市下野田本覚坊史料誌 第1集』が刊行された。同書では、「本覚坊略誌」「本覚坊史料の伝来と性格」などの全体的な解題とともに、1992年度調査分の資料目録と解説を掲載している。

一方、上越市史編さん専門部会には平成7年から寺社資料部会がおかれ、その中の文書資料班は、真野氏の調査を引き継ぐ形で、本覚坊所蔵文書の調査を行った。本目録に収録した資料のうち資料番号137-1185~1277は、真野氏が調査結果の一部をまとめた『越後の本覚坊』の資料番号の92-1~114にあたる。これらの史料の内容や性格については、『越後の本覚坊』を参照されたい。

調査開始時、文書は引き出しや箱にばらばらに収納されていたが、現在は封筒に詰め替え、一括して段ボール箱に収納している。なお、本目録に収録した文書の他に、経蔵に収められている戦国から近世初期の本願寺懇志請取状100点あまり(内93点が上越市指定文化財)や、蓮如上人筆とみられる六字名号、紙本着色蓮如上人絵伝(上越市指定文化財)などの法宝物類、本堂には約1000冊の書籍類などが所蔵されているが、本目録には収録していない。



「御尋ニ付以書附申上候」寺社奉行所 ← 下野田村本覚坊  
(元文5年2月15日) 本覚坊の由緒書